(3)

R 東 日 本

本 部 営 業 部 長執行役員鉄道事業

根本英紀氏

(6月23日付で執行役員人事部長)

分があります。

に歩んでこられた、旅ホ連くのご支援をいただき、共左も分からぬわれわれに多い

移動時間が短くなり、旅行 そして直近の北陸、北海道。

と感じております。

JRグループが地域の皆

地域の人々が一緒になって

に昇華できたと思います。

ていこう、という取り組み

して何よりもそこに住まう

おもてなしをする。

まさに

行政が積極的に関わり、そ

り上げよう、

レベルを上げ

はや不可逆的なものとなっ という旅行業の流れは、

も

ウエブについ

ありません。

リアル店舗からウエブへ

てもわれわれは、 ております。

しっかり

と思います。

した仕組みづくりをした

るのではなく、

先ほど申

的なツア

にだOTAと同じことを

み。中期レンジで観光を盛

レベルアップへの取り組

が、今はさまざまな産業やペーンだったかと思います

なりレベルアップしてきた 観光は30年前と比べて、か

できたと思います。各地の

それぞれの会社が旅行業を

30年前にJRが発足し、

も広がってまいりました。

山形、秋田、長野、東北。

やろうとした時、まだ右も

の皆さまのご恩は何物にも 代えがたいと思っておりま

りしようと、取り組んでま

いりました。

まな方面にお客さまをお送

た。それを踏まえてさまざ のバリアも下がってきまし

ーションキャンペーン(D さまと取り組むデスティネ

C)。これも昔と比べて様

ているのだと思います。

また3カ月間だけでな

運動としての広がりを見せ

ける強みと申しますと、

鉄道会社の観光事業にお

つは発地を持っているこ

変わりしております。

で、新幹線のネットワー

いろと成果を上げることが

いは3カ月間だけのキャン は観光関係者だけの、ある

は終わってからのさらなる

く、その前の準備、

あるい

がございます。そこで観光と。それぞれたくさんの駅

のさまざまな魅力をアピー

ルできます。

旅ホ連の皆さまと、いろ

当社管内ではこの30年

生活に欠かせない貴重な足の役割を果 要旨を紹介する。 の今年度通常総会で述べられたJR旅 プ協定旅館ホテル連盟(JR旅ホ連) 会社と共に30周年を迎えたJRグル 地域一体で取り組んでいる。 ここでは 発など、自社エリアへの観光客誘致に たすと共に、観光列車の運転や地域開 地域密着の企業として、住民の普段の **武、旅ホ連との連携策について、** 各6社の30年の歩みと今度の事業方 JRグループが発足30年を迎えた。 (特集3~5面)

R 北海道 営 業 部 長鉄道事業本部 萩原国彦氏



でまいりました。

よって、会社自体を大きく と、車両や施設の老朽化に は航空会社のさまざまな施 た当社に限って申します

う意味で直近の10年は、 時代に入りました。そう 変革させなければならなど

初の10年間は、旅行業をど まからも助言をいただきな のようにやっていくかにつ いて、旅館・ホテルの皆さ JR北海道として、この ているところです。 皆さまが築きあげていただ さに変革の10年だと認識し いたこの30年の歴史を受け 私どもとしては、先輩の

多くの応援をいただきまし

一方、8月には台風被害

ロ ネーションキャンペーン 一県と函館におけるデスティ・

ノ です。この動きを一過性に *** 外からのお客さま、そして ***

皆さまそれぞれの経営で培がら進めてまいりました。

道新幹線が開業。

皆さまの

いたところでございます。

おかげさまで本州など道

おかげさまで昨年は北海

な励まし、ご助力をいただ

した。

全国の皆さまからさまざま

います。

海道営業部長の萩原でござ

迷惑をおかけしましたが、

幹線2年目ということでス

30年を振り返りますと、

トをさせていただきま

今年につきましては、新

R旅ホ連の会員さまにもご

た。その間、

北海道内のJ

路を結ぶ特急が止まりまし

お客さまをこのエリアに送 っていただきました。

るよう努めてまいりたいと

思います。

面で協力をいただきまれ 皆さまと共に海外視察へ出 なる発展に向けて取り組ん 海外も含めて旅行業のさら ったと思います。 掛けるなど、さまざまな場 そしてその次の10年は、 旅ホ連の

策の変更があります 宿のネット直販化、あるいそして直近の10年です。

うしたらいいよ」「こっわれた経験をもとに、 だろう」と提言をいただき うふうに見ていったらどう って作り上げてきた10年だ ながら、皆さまと一緒にな 「こうい

いりたいと考えておりまりと経営の変革に努めてま

稚内方面にも関空、あるい規で発売したところです。

代会長が、もう亡くなられ旅ホ連北海道地域本部の初

というお話をうかがったこ活動に関わっているのか、

ただきました。

ている皆さまと一緒になっ

導し、

さらに北海道全体へ

手を携えて、地域の観

北海道の魅力づく

考えて

そして地域の観光を担っ

は成田からのお客さまを誘

りをさらに進めてまいりた

ります。

と考えております。

新幹線の取り組みとし

各旅行会社の団体型商

開業して1年が経過

向けPR活動を行ってまい ら北海道、北海道から東北 観光素材の発掘、磨きをか 北関東の修学旅行獲得に 目として北関東・東北か て提供していくこと。 すのでこの説明会を通じ

また、LCCとタイアッ

符を発売し、今年度は、稚プした帯広・釧路方面の切

と思います

どうすれば地域でインバウ 緒になって考えていければ ンドを多く受け入れられる 動の中で、その情報交換。 ようになるかについて、 旅ホ連活 2回東京・大阪・名古屋・ 会社向けの商品説明会を年 きましたが、個人型商品に 品設定に向け情報発信の 販売座席数も落ち着いて ムで終わらない継続的な 一つは従来より旅行 一過性の開業ブ の発売以降、毎年、 が、 ルパス」というFIT向け の商品を発売しております 和性が高いと感じていま 弊社では、 発売枚数は、 「北海道レー 平成23年

おいては、

ける仕掛けを進めていきた さまの地域へ動いていただ 道を利用している方々を皆 いと考えており、 回っております。この鉄 前年を

福岡・仙台と開催しており

りたいと考えております。 体制整備も、地域の皆さま と動いていただく仕組みを と一緒になって進めてまい インバウンドの受け入れ いきたいと思ってお 鉄道と親 会がございました。 いろとご指導をいただく機 、 JR等で、 観連(日本観光旅館連

た。私も何度か直接、いろ なぜ旅連 てくれる。そこが気に入っ 個人だけではなく、

ホテルの根津文男さんでし ましたが、川湯温泉・御園 とがあります。その時、 真面目である。誠実である。 「鉄道員というのは非常に 地域に寄り添って考え 地域と一緒になっ 組織と の皆さまと一緒になって、

根津さんのお言葉をもう ばなりません。 30年のこの節目に、この 旅ホ連の皆

地域創生をしていかなけれ ているんだ」とお言葉をい 私どもはこれから、地域 ら引き続き、ご指導、 援をお願い申し上げ、ごあ いさつとさせていただきま

今後はこれがと思います。海道の地域創生に関わって

ご支

ウンド施策を柱に、しっか継ぎ新幹線、そしてインバ 新幹線開業、ブームを継続へ 経営変革、地域創生取り組む

強みを生かし観光事業推進 2020年、そしてその後へ

できます。

をさまざまな場所にお連れ

ク。これによりお客さま 二つ目は鉄道のネットワ

ていかなければならない部強みを生かしつつも、変え 観光を取り巻く環境が変化 ただ、ご承知のように、

思います。

築できていること。

らも生かしてまいりたいとこの三つの強みをこれか

光開発に取り組む体制を構

着地側で地域の皆さまと観

あります。

5月1日、

T R A I

-) 四季島」というクル

TE(トランスイ

レインの運行を始め

からコト

への消費の変化が

言われることですが、モ

ん変わってきました。

お客さまの

志向もずいぶ

各地域に支社があり、

そし

一番大事かと思います

そして三つ目は、これが

て駅がある、ということで、

プされています。 たいたお客さまにお話を聞 うところがクローズアッ

豪華な列車だとか、ツア

ういったものをお客さまは

人とのつながり。そ

うブランドのツアーを発売

このような取り組みをどん

どん広げ、

各地の観光がさ

بح

求めて

いるのではないでし

代金がいいお値段だ、 実際にご利用いた ょうか。

んだ「フレテミー」いただくメニューを 親子で体験をして 土とい

-を組み込 Ŋ ます。

をふんだんに盛り込んで まだ小さな一歩ですが、

ならではの、

地域の皆さま と一緒に作った体験メニュ てまいります。 観光を取り巻く環境の変化 らに盛り上がるように努め は本当にめまぐるしいで インバウンドをはじめ、

期的な戦略をしっ ようと考えております。 的な戦略をしっかりと持既存の部隊に加えて、中

キャッチアップをしていかす。われわれはしっかりと いう意味で今回、本社と支 なければなりません。そう 社の観光推進体制を強化し 光のレベルアップを図れるって、地域の方々と共に観 の後を目指して取り組んで パラリンピック、そしてそ 020年のオリンピック・ ような体制増強を進め、 2



は観光開発。これらによっ

着地のさまざま

の対応です。

ただける商品を作ってま

よりお客さまに選んで

りたいと思います。

の情報発信やレールとの組

げた三つの強み。駅で

SUITE四季島



SUITE四季島 Ν



新幹線 H5系



スーパーとかち

JRグループ協定旅館ホテル連盟創立30周年特集





R 東 海

主に三つのプロジェクトがこの30年を振り返ると、 思い出されます。 今の「のぞみ」主体に変え と同時に新幹線のダイヤを

ですので、

バイパスを

です。

を抜本的に変えようと建設 を進め、これは「 ントラルタワー 二つ目は名古屋のJRセ 1999年 た段階です。

めたことです。「のぞみ」

に完成しました。

てそれに伴う速度の向上 川新駅プロジェクト。

そし

まずは東海道新幹線の品

2003年に完成し、

線は一番年を取った新幹線

変多くの費用がかかるもの る中央新幹線の建設は、大

し上げた超電導リニアによ

スプレス構想。東海道新幹三つ目はリニア中央エク

しました。 また、 品川駅はは1992年に運転を開始

でまいりました。これは今、くなるだろうと、取り組ん 作らなければ まさに工事に着手をし始め 私どもの決算は堅調に推 しておりますが、 いずれもたな 令 りまして、これはなかなかというのが課題となってお 大変なミッションです。 収益基盤をしっかりしろ、 しては、もっともうけろ、です。われわれ営業陣営と 課題をクリアするには、

プラットフォームをうまくための宣伝をする、宣伝の をお連れする、お連れする 私どものエリアにお客さま 思います。 さまをお迎えするビジネス テンツを作り、多くのお客ちながら、いい観光のコン

東海地域本部の吉川 る必要があります。

と いかなければなりません。 けりて、いいものを作って すと、渡邉会長のお知恵も また、静岡DCになりま

さまざまな取り組みを考え の皆さまと一緒になって、 地元の自治体、宿泊施設 ございます。 - プ協定旅館ホテル連盟 宿泊施設 会長か

いかなければなりませ

ら、いいコンテンツを作っら叱咤激励をいただきなが

知県、再来年春は静岡県と 私ども東海エリアで続けて ションキャンペーン(DC) とに、JRのデスティネ と一緒に信州、来年秋は愛 が、この夏は JR東日本様

夫氏 けていかなければなりませる、という地道なことを続活用する、予約も便利にす そのような中、心強いこ

営業 本部 長専務執行役員

厚地

純

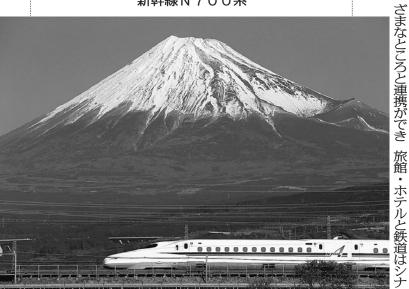
ト対応が最重要課題 旅ホ連と共存共栄の道を

います。 思います。 度伸びましたが、 だろうと実感して ネットでまず新幹線を取 ネット予約で非常に伸びて のですが、土休日の予約が すので平日のご利用が多い でのご利用が多い新幹線で にシフトしているからだと いう形が相当増えているの **東海道新幹線はビジネス** それから宿を取り、 観光のお客さまが

もあるものの、20%程度伸 びました。5月だけでなく うち平日は前年比で8%程 この5月の例で言います ネット予約をご利 ルデンウィ クの要素 土休日は います。



新幹線N700系



ているのだと思います。 旅行がさらに増えると予測 するという習慣が常態化し た。ネットで宿と足を予約4月も同じような状況でし インバウンドも、個人型 となると、 央新幹線の両方を運営する東海道新幹線とリニア中 なくてはならない、という けでなく、効率的にもうけ ただもうけるだ

ぐにでも東海道・山陽新幹

うな形で、思い立ったらす

この機能など、無機質な予約で、 予約を中心に、観光案内でないかと考えております。

トショッピングと同じよ

主体のダイヤになりまし の品川駅開業で「のぞみ」

東海道新幹線は2003年

先ほど申し上げた通り、

取り扱いを今後どうするか こうしたネットに対する 今一番の課題だと認識 と思います。 ことになります。やはり、 とが大きなポイントになる -をうまく活用するこ

あるいは団体旅行は、当時いただいている個人旅行、

されています

そして旅行会社に扱って

に比べておよそ2倍に増え

ただ、この

2年は、

しています。

日本様と一緒に、通常のネ

JR東海は、 J R 西 ト予約に終わらせず、

開始に向けて準備している 線のきっぷを予約できる、 ところです。 という新しいサービス「ス これを単なるJRのネッ トEX」を、9月末の

さま ろです。 旅館・ホテルと鉄道はシュ いずれにしても宿と足、

ないかと、今、夢に描いて のプラットフォ もう少し心が通うネット上 実現しようとしているとこ ムができ

のみの機能から脱却した、 っております。 作るかが、今、

存共栄する、お互いにもうです。次の30年に向けて、共ごす。次の3年に向けて、共 ご指導をいただければと思 JRグループへのご支援、 ントだと思っております。 けるビジネスモデルをどう 今後ともJR東海および 一番のポイ

JRグループ協定旅館ホテル連盟創立30周年特集

と、前年をヒョー・
と、前年をヒョー・

前年を上回りました。

昨年度を振り返ります

ばよいのかと考え、一つの

を増やすためには何をすれ 岡山に宿泊されるお客さま

敷市のメーカーで、ヵt。

けのための方策として、倉

とができました。結果とし

よる観光振興に取り組むこ 飾する等、新たな切り口に

今年の山口、来年の山陰と、

な成果を得られたことは、

当社エリアの今後のDCの

ご承知のとおり、北陸新幹

足30年を迎え今後のわれわ

このような状況の中、

の使命を見据えますと、

進めてまいります。

がたく感じています。また、 越しいただき、本当にあり

ブランドのおしゃれなデザ

への旅行商品実績は、

なったと思います。

西日本エリア発の岡山

開催に向け、

大いに参考に

インで人気のあるマスキン

首都圏発についても前年比

0%となり、

さて今年は、

北陸新幹線

り上げていくかということれを見据えて着地をどう盛

开支店という業務機関を新

先を徹底して、

お客さまを

ずは何においても安全最優 き起こした会社として、 事故という重大な事故を引

く、私どもは、この6月に福

にに作りました。この支店

無事に目的地にお運びする

これを最大の使命と

敦賀まで延伸しますが、

そ

福知山線の列車

約6年後に福井県の

1割を超える実績となりま

目を迎えました。

開業2年

の金沢―長野開業から3年

テーマとして、

「夜の魅力

人は、熊本地震の影響を受昨年度の私どもの運輸収

た。そこで、DCを契機にないといわれておりまし

月に延長し、好評を博しま

した。また、観光地の魅力付

の成功があります。

もとも

われ、宿泊のお客さまが少 と岡山は通過型観光地とい

知事に英断いただき、1カ週間の予定だったものを県

城をマスキングテープで装 ように売れ、DC後も岡 テープは駅でも販売し飛ぶ を行いました。マスキング グテープを活用した企画展

の取り組みにおいて、

契機とした新たなテ

した。このように、

DCを

目の昨年度は、

初年度に比 北陸の流動

べると首都圏―

ョンキャンペーン (DC)

例えば後楽園のライトアッ

付け」に取り組みました。

プ事業については、当初1

まずは岡山デスティネー と、観光面での成果として、

J 民 西 日 本 営業本部長 執 行 役 員 室 S

すが、旅行会社の方からードのご利用も好調なので

「なかなか席が取れない」

が、旅行会社の方から

に向けての特急サンダー

昨年度は100万枚、 昨年

ると考えています。

一つは

T W

が果たすべき役割は二つあ

にあたり、

われわれ

鉄道事業者として、地域と

25万枚の販売でし

助日外国人向け切符は、

す。他方で、

大阪から北陸

込みたいと考えておりま

くのお客さまを北陸に呼び

というお話があり、

旅行会

博氏

のみならず関西からもより幹線開業を契機に、首都圏 多くのお客さまに北陸にお 社の団体専用のサンダー した。このように、 の運転も開始いたしま

地域と共に生きる」使命に 基盤整備進め

ます。JR東日本様と共同

に上回る利用となっておりものの、依然開業前を大幅 で一部落ち込みが見られた

で実施している「四季の美

五ツ星。

北陸新幹線キャ

| 各社と協力をしながら、多 魅力発掘、

準備を進めてまいります。

いと考えて

います。

情報を観光振興に役立てつ

地元の皆さまと一体と

敦賀開業に向けた

営業施策を進めてまいりた

フイフスタイルから1名の

改めて認識して

います。

も

株式会社リクルー

向者を受け入れておりま

同社が持つさまざまな

共に生きていくというこ

地域の皆さまと

と。この二つを、私たちの

「ありたい姿」として掲げ

も引き続き好調で、当社の

インバウンド需要

特に「地域と共に生きて

向上させていくと同時に、 西から九州方面へのパスを 今後も積極的なセ 発売する等、 道を組み込んだパスや、 売れています。

京都丹後鉄 避していただく切符が多く 西日本エリアを広く周 パスの魅力を

関西空港から北 ルスを の役割、 た直接的な送客は行って という役割です 地域を結ぶキャリアとして 連会員への商品造成を通じ 行に旅行業を移管し、 基盤の整備に参画していく 員として、 当社は平成13年、日本旅 もう一つは地域の 魅力の発掘や

るからだと考えています。 皆さまとともに推進し、 誘客を含むさまざまな地域 れを評価していただいて 活性化の

取り組みを

会員の そ

中、多くの会員が旅ホ連にません。このような状況の や、その他の国内外からの ご協力いただけているの 昨年成果を残したDC から、 歴史文化の息づく伝統工芸 ました。西日本エリアの豊 の運行を始めました。旅ホライトエクスプレス)瑞風」 を車内でお楽しみいただけ かな食材を生かした料理 連会員をはじめ、地域の皆 で多大なご協力をいただき さまには運行に向けた準備 EXPRESS (トワイ 眺められ、 日本エリアを訪れていただ

途中の観光地では、 れば海の潮騒や山の新緑の る列車であり、客室では横 瑞風よりもカジュアルに西 を行います。さらに今後は、 皆さまと連携しおもてなし から美しい西日本の風景が 幅180%もある大きな窓 においを感じられますし、 横のか 小窓を開け 地域の 1 アの活性化に取り組んでま す。 まと連携して、 形で地域と地域を結ぶキャ 生きる」べく、さまざまな ける、 をはじめとする地域の皆さ 車の運転も計画しておりま これからも「地域と共に そして旅ホ連会員様 新たな長距離寝台列



GHT EXPRESS瑞風(展望車) (5)

玉

営 業 部 長鉄道事業本部

(6月27日付で取締役財務部長)

しました。

キャンペーン」を実施いた

ご利用いただきました。

愛媛県が4位でした。

私どもは、



のおかげだと思っておりま えに関係の皆さまのご支援 たと、皆さんおっしゃいまきると思った人はいなかっ ら30年前、JRが民営化し ることができました。今か 上場できたのは、ひと JR九州が上場で JR九州は上場す 営をして、多くの皆さまの 相当ひよっ子だったと思い ばってまいりたいと、社員 ご期待に沿えるよう、がん 新しく立ち上げたわけで、 一同思っているところで 旅行事業も民営化直後、

思います。

ま、JR各社の皆さまだと

線で九州各地とつながった

とを多くの日本人、あるい

実感する1年でした。

は海外の方にも知ってもら

う大きなきっかけになって

みで「九州ふっこう割」が

昨年7月に政府の取り組

始まり、そこで九

州観光は

いると思います。

ます。それを育てていただ たのも旅ホ連や地域の皆 ほかの旅行業の皆さ だいています。これは新幹利用を中心に作らせていた のエリアへの商品も、鉄道 東海、 など、 わけですが、それ以外にも 北陸、関東と、 四国、関西、さらに ほか 込まれていると思います

す。ありがとうございます。

これからもしっかりと経

さま、

品は「駅長おすすめのゆ」 自前で作っている旅行商 九州内の商品が多い 列車の楽しさを追求してい ことが大きいと思います。 意志は当社のDNAに刷り ることに、民営化直後から の楽しさを多くの方に伝え 取り組んできました。その ることがあります。 また当社の特徴として、 その旅 る スト 「ゆふいんの森」も、民今も人気をいただいてい

価値ある観光資源がたくさ

配だとの声も地元であり、

9が、日本には素晴らし

はい減少といわれておりま

行商品の割引率が非常に高

終わった後の反動も心

勢いを取り戻しました。

日本人の、国内旅行が横

んあります。

「日本は面白

ア 戸岡鋭治先生にデザインを と称している観光列車、水 の と称している観光列車、水 旅は楽しいのだ、というこわれておりますが、列車のライバルができたなどとい まと共に、この列車の旅を伝えすること。地域の皆さ物語を列車を通して広くお 本さん、 州各地にお客さまが行く 作っています。 お願いして、 始めました。 クルーズトレインの運行を そのような取り組みで作り のだと思います。これから 方に評価をしていただいて せています 上げた列車です。JR東日 めてまいりたいと思いま もそのような取り組みを進 つのきっかけになっている おります。その点が多くの 作り上げる取り組みをして 営化直後からスター いるのだと思います。 「ななつ星ー JR西日本さんも し、デザイン& マスコミから 多くの列車を n 九州 地元の トをさ

さまざまな「D&S列車」 列車の旅の楽しさ伝え

の旅ホ連の皆さまにも義援

ンペーンを始めたほか、 す。7月から大分熊本キャ 取り組んでいるところで

先

くしては語れません。全国

昨年の九州は、地震をな

金をちょうだい

多くの

ところです。

高まればと、期待している

今年は気持ちを新たにや

いかねばならないと、

もらい

、旅行に行く機運が

す

い」と多くの人に気付いて

いた1年だったと思いま

ケットが非常に揺れ動

元気付けようと、

たくさん

いないため、

ほかの路線に

から感謝を申し上げます

ました「あそぼ

そして日本中から九州を

豊肥本線の一部が復旧して

応援をいただきました。

小厂

阿蘇地方を走っており

し上げたD&S列

の方に訪ねていただきまし

出張しておりましたが、こ

の夏から大分側から阿蘇方

面に走らせたいと考えてお

本当にありがたかった

車の復旧に向けたご支援 てサンプリングを駅を利用 をいただきました。 や、風評被害の払拭に向け してさせていただい 多くの皆さまのご支援を JR各社の皆さまも、 さまざまな形でご支援 ります。

(6月23日付で常務取締役)

車の 限定で走ります。 「ななつ星」

大分、秋から冬にかけては 長崎を走っていますが、 は大分から阿蘇へ、日にち 2番目に新しいD&S列 「或る列車」も、夏は 夏

もコ る予定です。 -スを見直し、以前走って

ております。 しなければならないと思っこのように日々、進化を 地域の皆さま ております。これからもご気を掘り起こしたいと考え、こと一緒になって、地域の元・ す。 支援をよろしくお願いしま



が四国内でも整備をされ始しかしその後は高速道路 効果をもたらしました。 当社に整備新幹線クラスの エリアですが、橋の開通は るお客さまが2倍に増えま これまでの宇高連絡船と比 爛戸大橋線ができました。 当社が発足して2年目に)た。 四国は新幹線がない 四国と本州を往来す 土休日千円が打ち出されま るまでになりました。 政府の経済対策で高速道路 いたのですが、平成20年に 年は会社発足初年度を下回 め、残る2本の本四架橋は リーマン・ショックが起き、 社を利用するお客さまが減 ってまいりました。 道路専用ということで、 その後は比較的安定して 平成 16 当 ている四国遍路が4年に一昨年は世界遺産を目指し いるところです。 化の支援措置が打ち出さ 経営の健全化に取り組んで れ、平成32年度を目標に、 破たん状態まで陥りまし さらに苦しくなり、一時はした。これで当社の経営は その後は国から経営安定 (DC)と、当社とJR西は代せて昨年は岡山デステ かれ、 でをいただきました。 いる瀬戸内国際芸術祭も開 で、多くのお客さまにおい度の逆打ちの年ということ 人にお越しいただきまし また3年ごとに開催して 国内外から104万

国レールパスが発売5年目6社に乗り放題のオール四 います。 を迎え、昨年は初年度の14 JRを含め、四国の鉄道 %の1万

いただき、昨年は7千人にさんのツアーに組み込んで 旅行会社のEGLツアーズ ンパンマン列車も、香港の 私どもが運行しているア 8千枚を売ることができま

まと、 める 利用がありました。 数は対前年102・8%。 年度の瀬戸大橋線の利用者 ました。収入の約25%を占 社としても、瀬戸内のプロ うことでせとうちDMO バウンドが好調に推移して 立ち上がっております。 これらによりまして、 当社全体でも増収となり 日当たり2万4千人のご ションを強化した年で 約2%を占めるイン R他社からのお客さ

」をキャッチ

旅ホ連の皆さ

14年ぶりとな

昨年は広域のDMOとい 鉄道インフラを最大限活用

が減り、 者数も減っていくと予想さ ただ、今まで四国であま 四国も将来、さらに人口 03%と、 ベースとなる利用

り見られなかった訪日外国 際便が週20便に増え、外国 人宿泊数の伸びは昨年、 なりました。高松空港の国 人がかなり見られるように 位都「

道府県別で香川県が一

れ、普段いただく運賃だけ鉄道が不採算部門といわ そして本州ともつながって 割は大きいと考えておりま いる私ども鉄道の果たす役 4県に張り巡らされた、

観光需要の創出に努める る四国DCが開催されて まをはじめ、 っための駅の

入場券の販売 パンマン列車ひろば」を 高知駅の駅ナカには「ア しこくるり。 レーズに、 29年度は、 りましたが、ひろばに入 の反響を示しています。 双前年234%と、 「しあわせぐるり、

組んでいるところです。 さまを含めてオー **赊芸術祭があった昨年を上** 既光による地方創生に取り 大橋線のご利用者数が対 **県近の5月の速報で、瀬** 地域住民の皆 瀬戸内国 ル四国で %と好調です

さまざまなところで宣伝を いるところです。 していただき、感謝をして 四国の持続的発展に向け

この二つのものがたり列 旅ホ連の皆さまにも

率が95・7%。運行3年目千年ものがたり」は、乗車 平日運行を増やしました の「伊予灘ものがたり」は している「四国まんなか こちらも乗車率8・6 は、





要課題だと認識していま 観光旅客需要の創出が最重 ンフラを最大限に生かした 今ある鉄道イ の皆さまと議論しなければ す。四国における鉄道ネッ り立たなくなっておりまではなかなか事業として成 クのあり方を、地域

など鉄道以外の交通機関、 や、バス、タクシー、船舶まを呼び込むことで、宿泊 しかし、国内外のお客さなりません。

れてきます。 域への経済波及効果が生まその他の産業も含めて、地 可能性があります。 鉄道にはまだまだ多くの

の まいります。 用した地方創生に挑戦して はっと共に、鉄道を活 の皆さまと共に、鉄道次の30年に向けて、

JRグループ協定旅館ホテル連盟創立30周年特集